

地域における生物多様性保全活動の実態

1. 概要

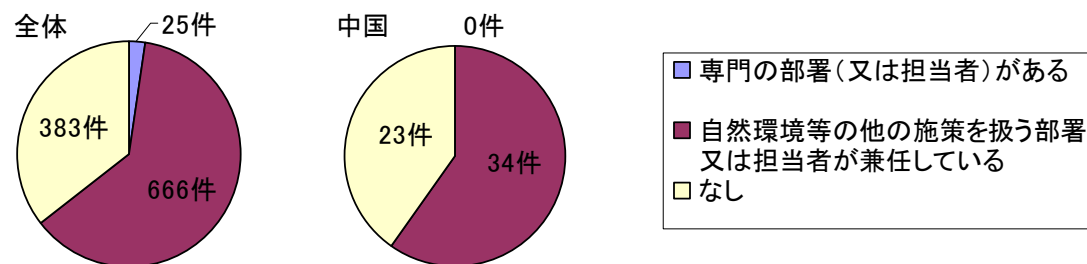
地域連携保全活動基本方針の検討に当たっての基礎資料とするため、地域における生物多様性保全活動の実態について、地方公共団体に対するアンケート等により把握した。また、アンケート等によって収集した地域における生物多様性保全活動のうち、地方公共団体が積極的に関わるとともに、同基本方針の検討に当たって特に参考となるようなものについて整理した。

2. 生物多様性保全にあたっての地方公共団体の体制・施策

全国の地方公共団体(47都道府県、1750市区町村)にアンケート調査を実施した結果、1081通(うち中国地方は58件)の回答を得た。その結果概要を以下に示す。

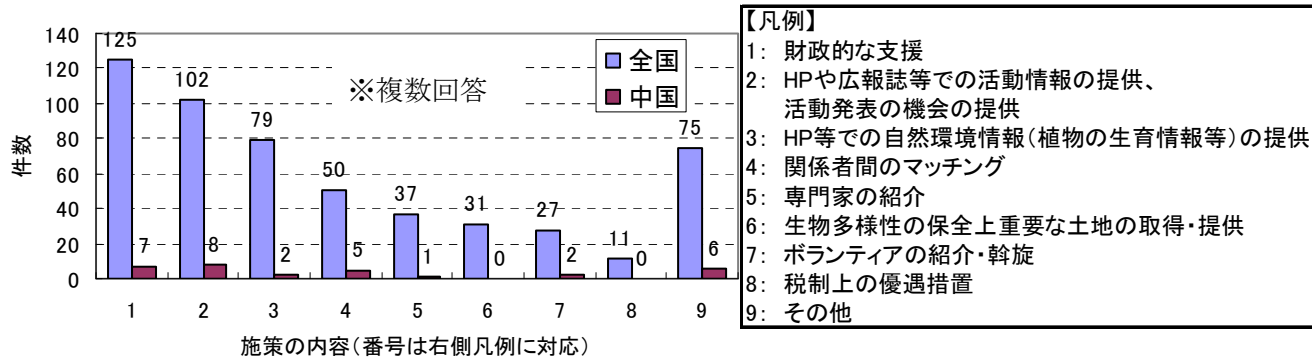
※現在集計結果を精査中であり、最終的な値は変更となる可能性がある。

1) 生物多様性を扱う部署・担当者 ※有効回答数 1074 件(うち中国地方 57 件)



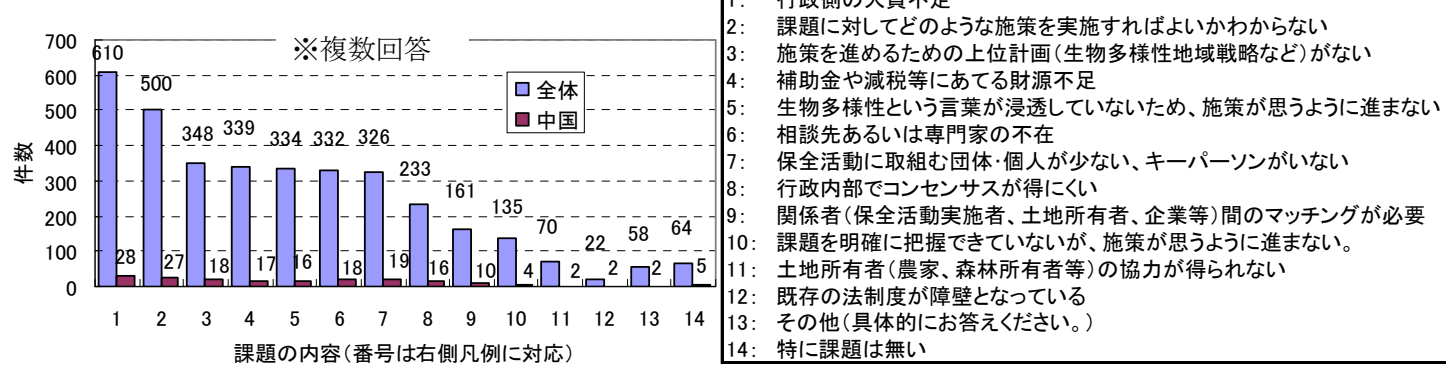
2) 地域における生物多様性保全活動を支援する施策

※施策が「有」と回答した地方公共団体 213 件(うち中国地方 8 件)



3) 生物多様性保全の施策を促進するにあたって感じている課題

※有効回答数 1013 件(うち中国地方 52 件)



3. 地域における生物多様性保全活動の事例

1) 岡山市身近な生きものの里事業(岡山県岡山市)

・・・身近な生物の保全、市民参加型の取組

■取組内容

「ホテルの里」事業を発展させて、活動地域、活動団体、その地域のシンボルとなる種等について条件を満たした地域を「身近な生きものの里」に指定(現在、10箇所)し、市民参加により河川敷の草刈・清掃や水路の補修等、地域や生きものの特徴に応じた保全活動を展開している。



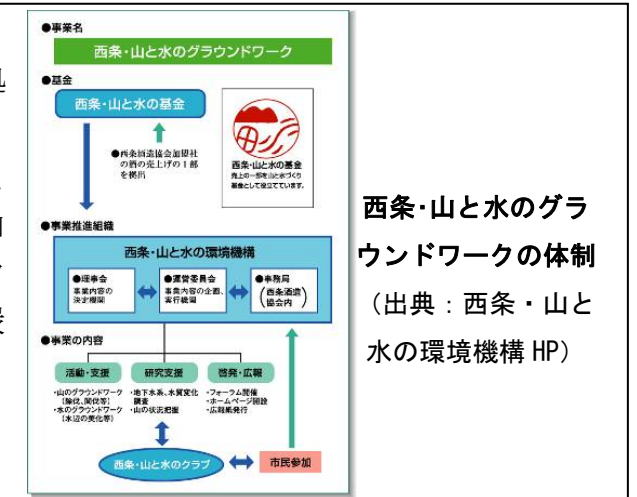
岡山市身近な生きものの里事業パンフレット(岡山市)

2) 西条・山と水のグラウンドワーク(広島県東広島市)

・・・水の保全、企業や大学の積極的参画

■取組内容

西条酒造協会(9社)の清酒の売上げの一部を拠出した基金によって運営されている「西条・山と水の環境機構」が中心となって、地域住民、企業、NPO、大学、行政等が連携して、年間6回程度の山の手入れ作業や水辺環境の美化・観察などグラウンドワーク(除伐、ウッドチップ堆肥づくり、炭焼き、調査研究、普及啓発活動等)を行っている。



西条・山と水のグラウンドワークの体制(出典:西条・山と水の環境機構HP)

3) スイゲンゼニタナゴの保全活動(岡山県倉敷市)

・・・貴重な種の保護・保全

■取組内容

スイゲンゼニタナゴ(国内希少野生動物種、環境省レッドリスト絶滅危惧IA類に指定)の保全を目的として、行政と市民団体が連携して、本種の生態及び生息環境に関する研究及び保護増殖活動、開発事業への保全対策アドバイスや事業地外への移植、密猟者対策のパトロール、水辺環境保全のための普及啓発活動等を実施している。



活動の実施状況(出典:倉敷市資料)